

## 令和5年度春期 システムアーキテクト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2023,6,29

4月16日（日）に行われた令和5年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、システムアーキテクト試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■システムアーキテクト試験（SA）

[令和5年度春期 システムアーキテクト試験 統計情報]

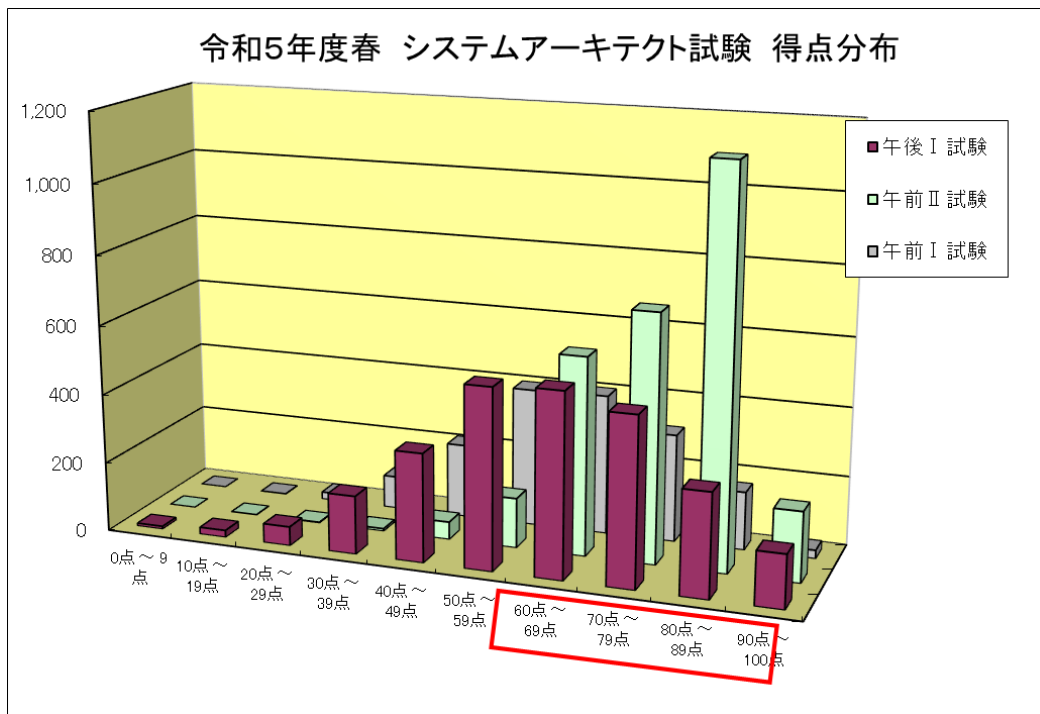
応募者	5,684 人
受験者	3,679 人
合格者	581 人
合格率	15.8%

令和5年度春期のシステムアーキテクト試験の合格率は15.8%で、前回の15.0%から少し上がりましたが、平成21年度からの現試験制度では2番目に高い合格率です。次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

(令和5年度春期 システムアーキテクト試験 スコア分布)

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	8	D 236	
10点～19点	1	1	20		
20点～29点	21	2	55	C 247	
30点～39点	95	7	168		
40点～49点	214	51	313	B 389	
50点～59点	400	144	519		
60点～69点	404	569	528	A 581	
70点～79点	311	709	484		
80点～89点	168	1,128	297		
90点～100点	24	202	153		
計	1,638	2,813	2,545	1,453	581
対前試験比率		171.7%	90.5%	57.1%	40.0%
午前Ⅰ免除者(概数)	2,041	55.5%			

合格者数	581	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	907	55.4%	326
午前Ⅱ60点以上合計	2,608	92.7%	2,027
午後Ⅰ60点以上合計	1,462	57.4%	881
午後Ⅱ-A評価	581	40.0%	0



午前I試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験免除の人は概算で2,041人(55.5%)でした。

午前I試験で基準点(60点)以上の人は907人(受験者の55.4%)で、前回の67.1%に比べてかなり下がっています。定番の過去問題が多かったのですが結果に現れませんでした。

午前II試験で基準点以上の人は2,608人(受験者の92.7%)で、これは前回の76.3%から大きく上がりました。過去問題が多く解答しやすい問題だったことが要因と思われます。

午後Iで基準点(60点)以上取れた人は57.4%で、前回試験の58.7%から少し下がっています。

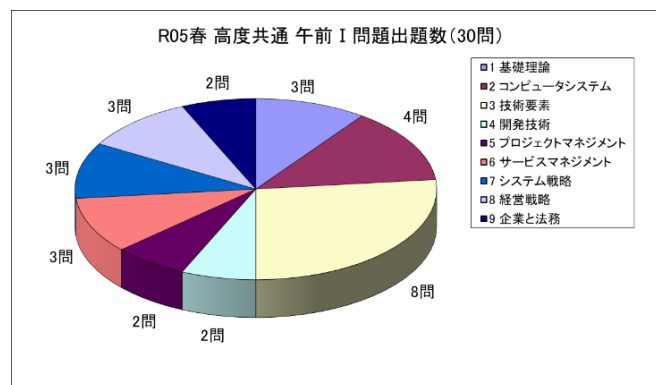
午後IIの論述式試験で合格点(A評価)を取ることができた人は40.0%で、こちらも前回の44.5%から少し下がりました。

## ■令和5年度春期 システムアーキテクト試験 出題内容について

### (午前I試験(高度試験の共通知識問題))

高度試験で共通して出される午前I試験の30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)の午前試験80問の中から選ばれていて、テクノロジー系17問(57%) マネジメント系5問(17%) ストラテジ系8問(26%)という出題比率です。

午前I試験には免除制度がありますが、高度試験の4~5割の人が午前I試験から受験しています。この中で60点以上の得点で午前II試験の採点に進む人は5~6割で、出題範囲が広いので試験問題を難しく感じる人が結構多いといえます。問題が難しいときには4割程度の人しか通過できないときもありましたので、最初の試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつける必要があります。



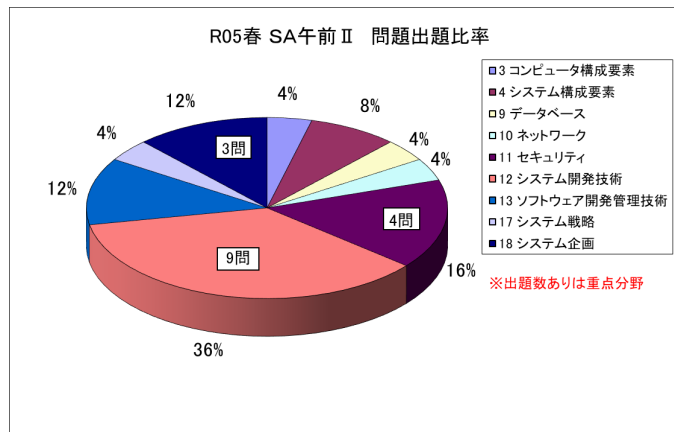
- ・今回の午前Ⅰ試験の内容は、定番問題の過去問が多く、前回よりも解きやすいといえました。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は3問で前回の6問から減っています。

### （午前Ⅱ試験（専門知識問題））

システムアーキテクト午前Ⅱ試験の重点出題分野は、システム開発技術とシステム企画、セキュリティですが、システム開発技術の出題が多いです。今回、品質、レビュー、テスト関連問題が3問ありましたが、前回と同じ出題数です（前々回は7問あった）。なお、セキュリティの出題が4問あり、他のITストラテジストやITサービスマネージャ試験よりも多い出題数になっています。

新傾向問題は5問（前回7問）で、デザインパターン、アーキテクチャパターン、AI関連技術について理解しておく必要があります。

過去問題は全体の約6割ですが、システムアーキテクト試験の過去問題は12問あり、直近4回分ぐらいの過去の試験問題は重点的に理解しておきましょう。



### （午後Ⅰ試験（記述式））

今回の午後Ⅰ問題の概要として、問1～3はオーソドックスな内容でしたが問題の細かい設定に注意が必要で、問4は基盤システムを対象としたやや難の問題でした。

なお、これまで問4で出題されていた組込みシステム関連の問題は来年からなくなり、3問の出題になります。

### （午後Ⅱ試験（論述式））

今回の午後Ⅱ問題の概要として、問1はDX推進テーマの新しい内容、問2はUIを継続的に適切化する工夫、問3はシステムの改変における再利用、という内容でしたが、問2と問3がやや記述しづらい問題といえました。

なお、これまで問3で出題されていた組込みシステム関連の問題は来年からなくなり、2問の出題になります。

## ■より詳細な試験の分析・講評をYoutubeにて限定公開

今回より、詳細な試験の分析・講評をYoutubeにて公開（限定公開）いたします。

試験区分毎に分析・講評動画を作成しております。

お手数ではございますが、以下の手順にて動画をご確認ください。

1. 下記の視聴申込みフォームより、視聴される方の情報を入力ください
2. ご入力送信後、送信完了ページ内にて動画をご覧いただけます

※ご注意ください！

送信完了ページは一度閉じると戻ることができません。

直接リンク・ブックマークからも送信完了ページへ再度訪問することはできません。

Youtube側のURLを控えていただかないと再度フォームに情報を入力することになりますのでご注意ください。

<視聴申込み用フォーム>

<https://www.itec.co.jp/shiken-kohyo/>

<動画の内容について>

動画には主に以下の内容が収録されています。

- ・試験区分毎のトピックスや最新情報、試験制度などの概要
- ・直近試験の出題内容における新傾向問題や出題傾向、解答の流れを分析した解説
- ・次回試験に向けた対策とそのおすすめのアイテック教材のご紹介

さらに、試験区分によっては講師が実際に受験してみた感想もご紹介しております。継続的な学習や今後の試験対策に是非お役立てください。



